



議会だより

No.149

平成26年5月
勝浦市議会報
編集委員会
電話0470(73)6662

目次

3月定例会の経緯	・・・2ページ
即決議案	・・・2ページ
常任委員会の審査内容	・・・2ページ
追加議案	・・・2ページ
議員提出議案	・・・3ページ
予算審査特別委員会	・・・3ページ
議会トピックス	・・・4ページ
議会日誌	・・・5ページ
一般質問	・・・6～7ページ
3月定例会議案審議結果	・・・8ページ
みなさんの議会を傍聴しませんか	
編集後記	



田植えの体験（平田区）

3月定例会

平成26年度各会計予算、勝浦市名誉市民条例の一部を改正する条例、勝浦市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例など20議案を可決・承認・同意

平成26年3月定例会は、2月27日から3月19日までの会期21日間で開かれました。

本定例会では、平成26年度予算など市長提出議案17件のほか、議員提出議案3件を審議しました。

その結果、議案17件及び議員提出議案3件は原案のとおり可決・承認・同意されました。

平成25年10月15日から16日にかけての台風26号による農地農業用施設及び漁港施設の災害復旧経費であり、緊急を要することから平成26年1月10日に専決処分したものを。

◆議案第2号 平成25年度勝浦市一般会計補正予算(第9号)

◆議案第3号 平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◆議案第1号 専決処分の承認を求めることについて(平成25年度勝浦市一般会計補正予算(第8号))

◆議案第2号 平成25年度勝浦市一般会計補正予算(第9号)

◆議案第3号 平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◆議案第4号 平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◆議案第5号 平成25年度勝浦市介護保険特別会計補正予算(第3号)

◆議案第6号 勝浦市名誉市民条例の一部を改正する条例の制定について

即決議案

◆議案第1号 専決処分の承認を求めることについて(平成25年度勝浦市一般会計補正予算(第8号))

◆議案第2号 平成25年度勝浦市一般会計補正予算(第9号)

◆議案第3号 平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◆議案第4号 平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◆議案第5号 平成25年度勝浦市介護保険特別会計補正予算(第3号)

◆議案第6号 勝浦市名誉市民条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第7号 一般職の職員給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第8号 勝浦市立東保保育所、勝浦市立興津保育所及び勝浦市立鶴原保育所を平成26年3月31日に廃止することに伴い、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第9号 勝浦市社会教育委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第10号 保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第11号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第12号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第13号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第14号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第15号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第16号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第17号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第18号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

追加議案

◆議案第8号 勝浦市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第9号 勝浦市社会教育委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第10号 勝浦市名誉市民条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第11号 勝浦市社会教育委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第12号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第13号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第14号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第15号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第16号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第17号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第18号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第19号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第20号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

常任委員会の審査内容

総務常任委員会

◆議案第1号 専決処分の承認を求めることについて(平成25年度勝浦市一般会計補正予算(第8号))

◆議案第2号 平成25年度勝浦市一般会計補正予算(第9号)

◆議案第3号 平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◆議案第4号 平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◆議案第5号 平成25年度勝浦市介護保険特別会計補正予算(第3号)

◆議案第6号 勝浦市名誉市民条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第7号 一般職の職員給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第8号 勝浦市立東保保育所、勝浦市立興津保育所及び勝浦市立鶴原保育所を平成26年3月31日に廃止することに伴い、本条例について所要の改正をしようとするもの。

教育民生常任委員会

◆議案第9号 勝浦市社会教育委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第10号 保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第11号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第12号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第13号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第14号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第15号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第16号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて

◆議案第17号 固定資産評価審査委員会の委員である渡邊恵一氏が、来る3月31日をもって任期満了となること

◆議案第18号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第19号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

◆議案第20号 千葉県人事委員会勧告に基づき、55歳を超える職員昇給についての抑制を行うため、本条例について所要の改正をしようとするもの。

に伴い、新たに藤平光雄氏を選任したため、議会の同意を求めようとするもの。

氏名 藤平光雄
住所 勝浦市中倉551番地

年齢 61歳
の 2

議員提出議案

議員提案により発議が3件提出されました。

◆**発議案第1号 勝浦市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について**

勝浦市議会議員の定数を次回の一般選挙から、現在の18人から2人削減し、16人にしようとするもの。

◆**発議案第2号 勝浦市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について**

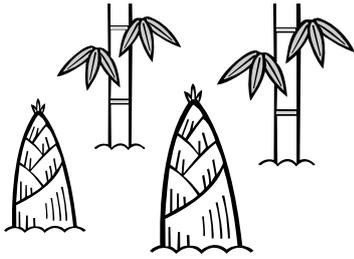
現行の3常任委員会を2常任委員会とし、名称を「総務文教常任委員会」と「産業厚生常任委員会」とする。

「総務文教常任委員会」は、現在の「総務常任委員会」の所管に教育委員会の所掌を併せるものとし、「産業厚生常任委員

会」は、「教育民生常任委員会」の所管から教育委員会の所掌を除き、「建設経済常任委員会」の所管と併せるものとする。委員の定数は、それぞれ8人とし、従前の1人2常任委員会所属を1人1常任委員会に改正をしようとするもの。

◆**発議案第3号 勝浦市議会の各会派に対する政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

政務活動費交付額を年額8万円から12万円に引き上げようとするもの。



平成26年度予算を審査 予算審査特別委員会

平成26年度一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、5会計の歳入歳出予算等を審査するため、7人の委員による特別委員会を設置しました。

この委員会は、各会計の歳入歳出予算等を審査し、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計及び水道事業会計いずれも全員賛成で原案のとおり可決すべきものとし、本会議最終日に委員長から報告されました。

委員会の審査内容については、議会トピックスの委員長報告をご覧ください。

なお、委員は次のとおりです。

委員長 根本 譲

副委員長 磯野典正

委員 刈込欣一 末吉定夫 寺尾重雄 戸坂健一 丸 昭

◆**議案第11号 平成26年度勝浦市一般会計予算**

長期的視点に立ったまちづくりを進めるための勝浦市総合計画前期基本計画及び第2次実施計画の計画事業を優先した予算編成であり、また、社会資本整備総合交付金や地域の元気臨時交付金を積極的に活用した事業を盛り込んだ予算計上であることから妥当と認めました。

◆**議案第12号 平成26年度勝浦市国民健康保険特別会計予算**

事業勘定では、医療費の動向に配慮するとともに、健全な財政運営を基本とした事業の推進に必要な予算の計上であり、直営診療施設勘定では、公立の診療所としての適切な医療を行うために必要な予算の計上であり、妥当と認めました。

◆**議案第13号 平成26年度勝浦市後期高齢者医療特別会計予算**

後期高齢者医療支給対象者の医療給付に必要な予算計上であり、妥当と認めました。

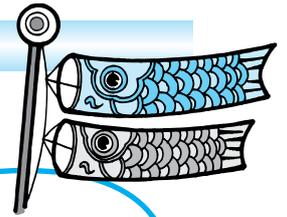
◆**議案第14号 平成26年度勝浦市介護保険特別会計予算**

高齢者の介護を社会全体で支える社会保障制度に必要な予算計上であり、妥当と認めました。

◆**議案第15号 平成26年度勝浦市水道事業会計予算**

上水道事業として市民に生活用水等を供給するための必要な予算計上であり、妥当と認めました。

議会トピックス



予算審査特別委員長報告

今期定例会において、予算審査特別委員会に付託されました議案の審査経過と結果について、その概要をご報告申し上げます。

当予算審査特別委員会は、平成26年度各会計の歳入歳出予算について審査し、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、審査の過程において各委員から質疑、意見、要望等が出されました。

その主なものを申し上げますと、平成26年度一般会計の予算規模が100億円を超えた要因及び財政の健全化についてただしたところ、**仮称市民文化会館建設事業費及び臨時給付金の約20億円を考慮すると本来の80億円レベルだと認識している。また、平成26年度末の起債残高が約93億円、交付税算入額が79億円超見込まれるため、実質的な負債は13億円超で、財政の健全化は図られているとの答弁がありました。**

一般会計の歳入予算においては、市税等の収入の確保を毎年掲げているが、来年度はどのような対策を考えているかただしたところ、**現状、職員は担当地区を決め滞納整理を行っているが、来年度は徴収体制を見直し、滞納額や滞納年数について初期滞納者、中期滞納者、後期滞納者への3班に分け、滞納状況に応じたきめ細やかな徴収体制をとるとの答弁がありました。**

また、歳出予算において、勝浦駅エレベーター設置費補助事業について、完成までのスケジュールや完成後の維持管理費についてただしたところ、**東日本旅客鉄道株式会社千葉支社長に夏季海水浴シーズンまでの完成をお願いしたが、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社の計画では、平成26年内の完成を予定しており、現在は設計が終わり、建設業者選定中である。完成後の維持管理は、東日本旅客鉄道株式会社が行うとの答弁がありました。**

また、生活保護費の適正化に向けた取り組みについてただしたところ、**毎月、収入調査を実施し、さらにケースワーカーが訪問し、現状を確認しており、生活保護費の不正受給はないとの答弁がありました。**

次に、国民健康保険特別会計について、国民健康保険税の歳入確保のため、短期被保険者証、資格者証の交付状況についてただしたところ、**平成25年12月1日現在で短期被保険者証交付世帯が221世帯、資格者証交付世帯が114世帯で、さらに市税等を含めた悪質滞納者への差押さえを7件行い、税の平等化に努めているとの答弁がありました。**

次に、水道事業会計について、水道料金滞納者の状況及びその対応についてただしたところ、**平成24年度の対応状況は、毎月、督促状、催告書等を発布し、年間528件の世帯を訪問し、納付を促し納付に至らない世帯の内、52件の閉栓を実施し、その後、一部納付等により43件を解除した。今後においても滞納閉栓の実施等により未収金の解消に努めていきたいとの答弁がありました。**

また、水道の未普及地解消について、**平成29年度からの第3次実施計画以降に検討することであるが、財政的な問題もある中で前向きに事業実施を検討していただきたいという要望がありました。**

単位：千円・％

会 計 名	26年度当初	25年度当初	比較増減	増減率	
一 般 会 計	10,194,000	8,751,000	1,443,000	16.5	
特別会計等	国民健康保険	2,920,538	2,945,180	△ 24,642	△ 0.8
	事業勘定	2,853,159	2,874,561	△ 21,402	△ 0.7
	直営診療施設勘定	67,379	70,619	△ 3,240	△ 4.6
	後期高齢者医療	232,212	221,701	10,511	4.7
	介護保険	2,179,167	2,162,126	17,041	0.8
	水道事業	1,043,643	973,790	69,853	7.2
特別会計等小計	6,375,560	6,302,797	72,763	1.2	
合 計	16,569,560	15,053,797	1,515,763	10.1	

※水道事業会計の(法適)の予算規模=(収益的収支・支出-減価償却費)+資本的収支・支出=
(799,164-145,363)+389,842=1,043,643

平成26年度各会計予算規模

平成26年度一般会計歳入歳出予算

単位：千円・％

項 目	歳入予算額	構成比	項 目	歳出予算額	構成比
市 税	2,130,395	20.9	議 会 費	165,731	1.6
地 方 譲 与 税	62,000	0.6	総 務 費	1,564,124	15.3
地方消費税交付金	228,000	2.2	民 生 費	3,131,875	30.7
地 方 交 付 税	2,330,000	22.9	衛 生 費	775,627	7.6
分担金及び負担金	191,436	1.9	農 林 水 産 業 費	188,366	1.8
使用料及び手数料	139,443	1.4	商 工 費	266,769	2.6
国 庫 支 出 金	1,468,769	14.4	土 木 費	556,300	5.5
県 支 出 金	364,833	3.6	消 防 費	106,284	1.0
繰 入 金	1,126,773	11.1	教 育 費	2,515,491	24.7
諸 収 入	360,921	3.5	災 害 復 旧 費	2,000	0.0
市 債	1,632,700	16.0	公 債 費	914,433	9.0
そ の 他	158,730	1.6	予 備 費	7,000	0.1
合 計	10,194,000	100.0	合 計	10,194,000	100.0

※構成比は、四捨五入により算出しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

<p>22日 関東市議会議長会定期総会（千葉市）</p> <p>21日 千葉県市議会議長会定期総会（千葉市）</p> <p>17日 表彰審査委員会</p> <p>7日 交通安全出動式</p> <p>4月</p> <p>19日 本会議（最終日）</p> <p>12日～14日 予算審査特別委員会</p> <p>11日 教育民生常任委員会</p> <p>10日 総務常任委員会</p> <p>7日 本会議（質疑）</p> <p>6日 本会議（質疑）</p> <p>5日 本会議（一般質問）</p> <p>4日 本会議（一般質問）</p>	<p>3月</p> <p>28日 3月定例会 本会議</p> <p>27日 全員協議会 本会議</p> <p>24日 3月定例会 本会議</p> <p>21日 議会議運営委員会</p> <p>20日 南房総広域水道企業団運営協議会（大多喜町）</p> <p>18日 会（いすみ市）</p> <p>18日 夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会全員協議会</p> <p>13日 国民健康保険運営協議会</p> <p>7日 黒船ハーマン号慰霊祭</p> <p>4日 議会改革検討委員会</p> <p>2月</p> <p>4日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会</p> <p>4日 国道297号整備促進期成同盟総会（千葉市）</p>
--	---

【議会日誌】

… 一 般 質 問 …

市政の ココ が聞きたい

3月4日・5日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

4日	佐藤 啓史 議員 1. 「市」民の「役」に立つ「所」について	5日	鈴木 克己 議員 1. 過疎地域指定について 2. 人口減少対策について 3. 農業振興地域整備計画について
	根本 譲 議員 1. 消防団の処遇改善について 2. キャリア教育について 3. ノロウイルス対策について		戸坂 健一 議員 1. 教育問題について



佐藤 啓史 議員
(新創かつうら)

「市」民の「役」にたつ
「所」について

市役所職員について

問 職員の専門化は、市民サービスや行政サービスの向上に繋がると

答 保健・介護や、建築・土木など高度な専門性や資格を必要とする職種については、専門職の採用に努めている。また国や民間等の人材を活用し、そのノウハウや技術を行政に生かすための任期付職員の採用や地域おこし隊員を採用し、多様化・高度化している住民ニーズに対応している。

問 人事異動を行う目的とは何か。

答 マンネリの防止、後進の育成、バランスのとれた職員配置のほか、縦割りの弊害を防ぐため、特定分野だけでなく、複

数分野における知識や技能を持つ人材を育成することを目的に定期的な人事異動を行っている。なお係長以下の職員を対象に自己申告制度を実施し、異動希望や異動先の有無等の意向調査を行い、参考にしている。

問 若手職員の育成の取組みと今後の考え方について見解を伺う。

答 千葉県自治研修センターや夷隅郡市広域市町村圏事務組合の各種研修会を受講させ、業務に関連する知識を習得させるとともに、人事異動を通じて複数の分野における一定の知識や技能のスキルアップに努めている。今後は業務における県との連携強化はもとより、職員の資質の向上、これからの本市の行政運営を見据えた職員育成の観点から、県への職員派遣を行っていく。

問 業務の効率化や職員の仕事に対する意識啓発のための職員提案制度について市の見解を伺う。

答 職員提案制度については職員の創意工夫

を奨励し、業務の改善及び効率向上等を目的に昭和42年から実施している。平成18年4月から提案箱の設置に加え、グループウェアの電子メールによる提案ができるように改善した。最近提案され実施したものは、迷惑メール撃退方法、市役所ゴミの減量化対策、学校の家庭及び保育所園庭の芝生化がある。今後は特定のテーマを定めそれに対する提案を募るなどの改善を行い、職員提案制度が活性化するように努めていく。

移動市役所について

問 移動市役所そのものが「市」民の「役」にたつ「所」の最たるものと考えるが、移動市役所の目的と必要性について、市の見解を伺う。

答 かつての支所の廃止等により、本庁より遠隔の地域住民の利便性を考慮して、自動車で定期的に各地を巡回し、事務を処理することにより、住民サービスの向上を図ることを目的に昭和44年1月より運用しており、引き続き運用していく。



根本 謙 議員
(公明党)

消防団処遇改善について

問 昨年12月に消防団を支援する「地域防災力充実強化法」が成立し、消防団の抜本的な強化を図る自治体に求め、団員の処遇改善や、装備品や訓練の充実に向けた予算が確保されました。具体的に、退職報償金は全階級で一律5万円を上乗せし、報酬・出勤手当の引き上げについて各自治体の条例改正を強く求めたものであります。勝浦市はどの様な考えなのか

答 今回の予算拡充前の国の平成24年度からの繰り越された予算を活用し、県内では5台配備される救助資機材搭載型車両の内1台が3月中に勝浦に無償貸付される予定であります。また、平成26年4月から消防団員の退職報償金が一律5万円引き

ノロウイルス対策について

問 ノロウイルスが秋以降、今年に入り静岡県浜松市でノロウイルスの集団発生により学校閉鎖となりました。勝浦市でのノロウイルス対策は。

答 今年度、小中学校において児童・生徒の感染報告はありましたが、学級閉鎖にいたる集団感染はありません。学校では、集団感染防止対策として、朝の健康観察、給食当番の衛生観察、手洗い・うがいの励行や保健だよりで予防啓発を行っております。また、嘔吐した場合の処理・対応など全職員が共通理解を持ち、集団感染にならないように取組んでいる。

キャリア教育について

問 近年、小中学校で経済の基本である「労働がお金(賃金)の源泉」

というところから、積極的にキャリア教育に取組むようになってきております。社会人になった時に多種多様な考えを持った人と共に仕事をしていくための必要な力を身につけておくということであり、勝浦市の実態についてお聞かせください。

答 キャリア教育は、児童・生徒一人一人に望ましい職業観、勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに社会に適応したり、自分の能力を発揮できるように、社会的、職業的自立に向けての必要な基礎となる能力や態度を育成することを狙いとしております。勝浦市では、小学6年生は1日、中学2年生は3日間、市役所、消防署、保育所、スーパーマーケットなど市内事業所で体験学習を実施しているところであり、今後も将来社会人として自立していくために必要な意欲、態度や能力を身につけさせるため、学校、家庭、地域社会と連携を図り、キャリア教育をより一層推進していきたい。



鈴木 克己 議員
(新創かつうら)

過疎地域指定について

問 過疎地域自立促進特別措置法の改正により4月から勝浦市も過疎地域に指定されるとのことであるが、指定を受けることによるメリット、デメリット及び予算に対する影響について具体的に説明してください。

答 自立促進のための過疎債の借り受けによる財政的なメリットが大きい。デメリットは、過疎という語感にマイナスイメージがある。予算及び事業については、過疎地域自立促進計画を策定し、財政的なメリットを最大限に生かし、インフラ整備などの事業を推進する。

人口減少対策について

問 人口が2万人を割ったことに対してどのように受け止めているか。

答 人口の多寡が自治体にとって有利不利とは考えていない。

問 人口の減少に歯止めをかける対策は。

答 人口流出の原因には職場の確保が困難、生活利便施設が少ないこと等がある。働く場の確保のための企業誘致は重要であることから、本市に適した企業の誘致に努める。

問 市外に住所のある市職員が多い傾向にある。納税の問題も含め、また、行政運営の中で地に職員がいることが望ましい。災害時対策等における危機管理についても市外居住職員が多い事での弊害もあると思うが、その実態と対策は。

答 63名、25・2%が市外から勤務している。市外職員が多いから災害時対策が遅れるということとはあつてはならない。

農業振興地域整備計画について

問 新農振計画における農振農用地区域の設定方針について伺う。

答 荒廃農地で今後の利用が著しく困難な農地は除外、また企業誘致等全体のまちづくりを考え、国県道の沿線の一部の農地について除外する方向で設定する考えです。

問 農業生産基盤整備の地域の現況とそれ以外の地域への整備計画推進への対応について伺う。

答 大楠、古新田地区などで推進委員会が設置され、機運が高まっている。取組まれていない未整備地域では、意向を確認し整備計画に反映させる。

問 農振計画の一つの柱として農業の6次産業化を位置づけることも必要ではないか。

答 新たな農業・農村政策についてできる限り盛り込み、時代に即した整備計画を策定したい。

問 国、県道の道路改良施設などが容易に確保できるように配慮した計画策定が必要と思うがどうか。

答 農村地域のまちづくりのためには、必要最低限の農地を他の用途に転用することも必要であると考える。



戸坂 健一 議員
(新創かつうら)

土曜授業の実施について

問 現在、国は公立学校の土曜授業を推進している。子供の学力の定着を図るには、授業日数の十分な確保が必要だ。土曜授業は、その有力手段であり、千葉県内の各自治体も土曜授業の導入に向け取り組んでいる。そこで、勝浦市内小中学校における土曜授業を導入すべきと考えるが、市教育委員会の考えは。

答 現在、週5日制を前提とした行事が組まれている事や教師が多忙である事から、今後他地域や先進事例を参考にしながら慎重に検討していきたいと考える。

問 土曜授業の実現に向けては教師の処遇改善行事の精選などを通じて、教師の負担を軽減する必要があると考えるが、市教育委員会の考えは。

答 多くの教員が多忙感を抱えながら勤務しているのが現状。教育委員会としては、学校職員の出勤時刻を正確に把握すると共に校長会を通じて、時間外勤務の適正管理を図っていく。また、県教委に対し研修や出張等の精選や事務負担軽減について要望する。

問 現状、教員が多忙で土曜授業の実現が難しいという事であれば、教師以外の人材を活用してはどうか。例えば地元

答 現状、教員が多忙で土曜授業の実現が難しいという事であれば、教師以外の人材を活用してはどうか。例えば地元

問 今後、教育改革を進めるに当たっては、先生方の労働環境をしっかりと整える事が重要だ。特に部活動について、部活動はあくまで教育における学生の能力向上の手段であつて目的ではない。部活動が忙しいから土曜授業が導入出来ないという事はあつてはならない。サービスクラスやサービスクラスが無いようきちんと管理して頂きたい。

答 多くの教員がその勤務時間の多くを割いているのが現状である。今後、外部指導者の登用や複数顧問の導入、ノー部活動の実施等、部活動の効率的な運用・活動について様々な取組みを行い、適正管理に努めて行く。

問 現在、学習指導要領に基づいて適正に授業を実施している。今後、市教育委員会の考えは。

答 現在、学習指導要領に基づいて適正に授業を実施している。今後、市教育委員会の考えは。

領土領海教育の充実の必要性について

問 領土領海に関する教育は重要であるが、現在、勝浦市内の小中学校では、領土領海に関する教育はあまり行われていない実態がある。今後の領土領海教育についてどのように取組んでいく予定か。

答 現在、学習指導要領に基づいて適正に授業を実施している。今後、市教育委員会の考えは。

問 現在、学習指導要領に基づいて適正に授業を実施している。今後、市教育委員会の考えは。

答 現在、学習指導要領に基づいて適正に授業を実施している。今後、市教育委員会の考えは。

3月定例会審議結果

議案番号	件 名	結 果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて（平成25年度勝浦市一般会計補正予算）	承認◎
議案第2号	平成25年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎
議案第3号	平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	可決◎
議案第4号	平成25年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決◎
議案第5号	平成25年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	可決◎
議案第6号	勝浦市名誉市民条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第7号	一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
議案第8号	勝浦市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第9号	勝浦市社会教育委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第10号	保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第11号	平成26年度勝浦市一般会計予算	可決○
議案第12号	平成26年度勝浦市国民健康保険特別会計予算	可決○
議案第13号	平成26年度勝浦市後期高齢者医療特別会計予算	可決○
議案第14号	平成26年度勝浦市介護保険特別会計予算	可決○
議案第15号	平成26年度勝浦市水道事業会計予算	可決○
議案第16号	平成25年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎
議案第17号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	同意◎
発議案第1号	勝浦市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
発議案第2号	勝浦市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
発議案第3号	勝浦市議会の各会派に対する政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決○

◎全会一致 ○賛成多数

編集後記



議会だより第149号をお届けします。

本号は、平成26年3月定例会について編集いたしました。

詳しい内容は、市立図書館及び市役所情報公開コーナーに備えてあります『勝浦市議会会議録』をご覧ください。また市のホームページにおいてもご覧いただけます。（<http://www.city.katsuura.lg.jp>）

お気づきの点やご意見、ご要望がありましたら、勝浦市議会報編集委員会までお知らせください。

勝浦市新官1343番地の1 勝浦市議会事務局内
勝浦市議会報編集委員会 ☎ 73-6662

みなさんの議会を傍聴しませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局へお申し出ください。

【傍聴者の状況】

平成25年6月定例会	36名
平成25年9月定例会	16名
平成25年12月定例会	42名
平成26年3月定例会	6名